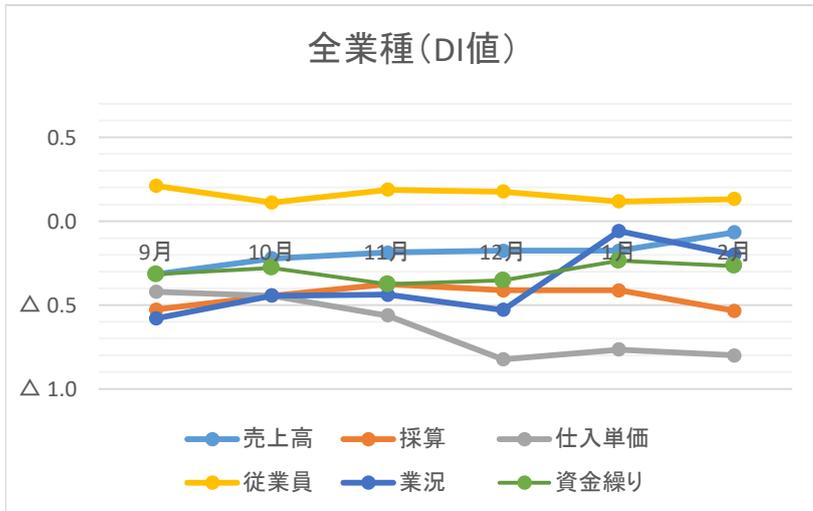


白河商工会議所LOBO調査結果(令和4年2月分)

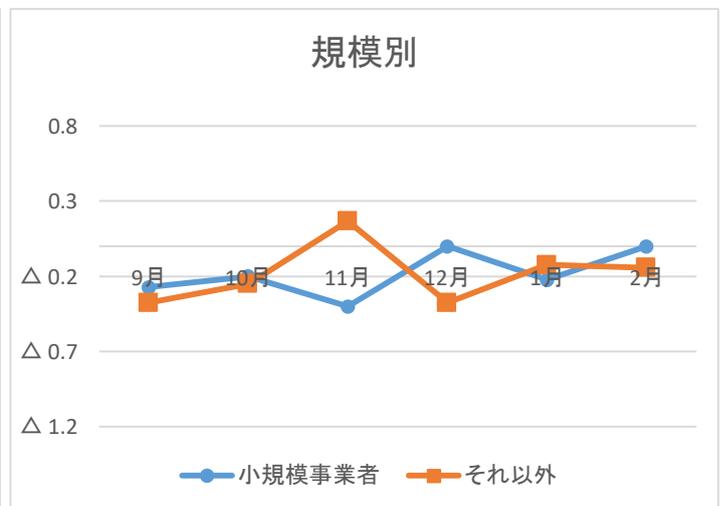
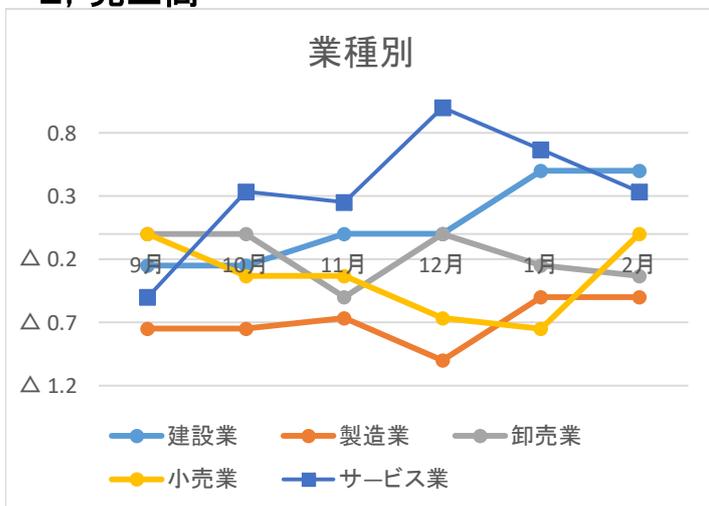
実施期間: 令和4.2. 9~2.16 回答事業所: 15事業所

1, 全業種DI値



2月の全業種DI値を見ると、資金繰りが+0.2ポイント、売上高が+0.1ポイント上昇した。一方では、採算・業況が-0.1ポイント、下降した。仕入単価・従業員は横ばいとなった。

2, 売上高

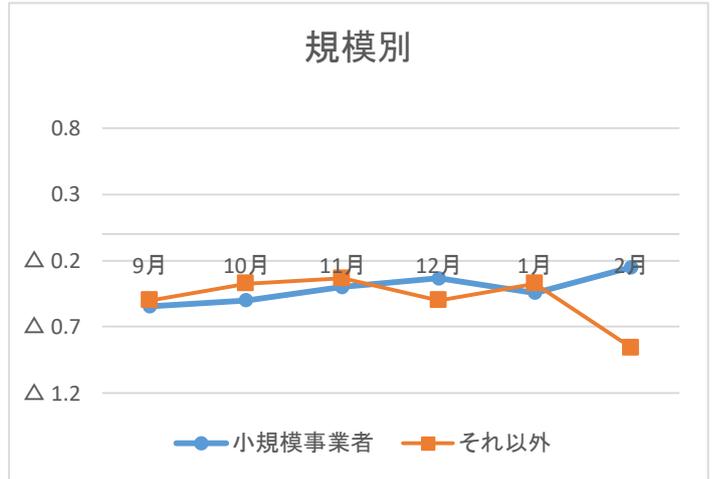
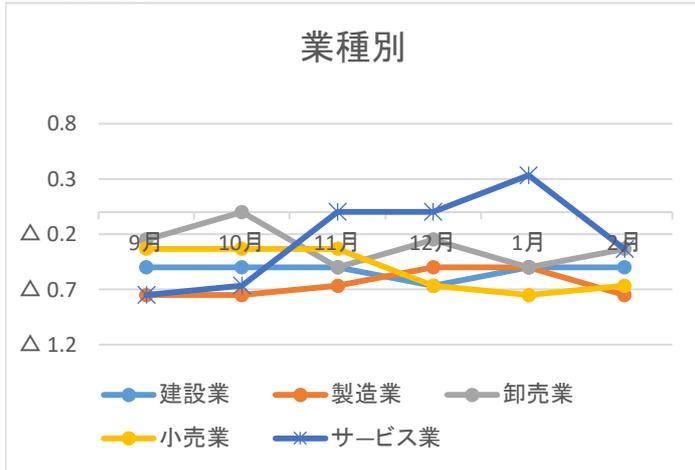


売上DIの推移

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
全産業	△0.3	△0.2	△0.2	△0.2	△0.2	△0.3
建設	△0.3	△0.3	0.0	0.0	0.5	0.5
製造	△0.8	△0.8	△0.7	△1.0	△0.5	△0.5
卸売	0.0	0.0	△0.5	0.0	△0.3	△0.3
小売	0.0	△0.3	△0.3	△0.7	△0.8	0.0
サービス	△0.5	0.3	0.3	1.0	0.7	0.3
小規模	△0.3	△0.2	△0.4	0.0	△0.2	0.0
それ以外	△0.4	△0.3	0.2	△0.4	△0.1	△0.1

全産業の売上DIは前月から-0.1ポイント下降した。業種別に見てみると、小売業が+0.8ポイント上昇した。一方では、サービス業が-0.4ポイント下降した。建設業・製造業・卸売業は横ばいとなった。規模別に見ると小規模は+0.2ポイント上昇、それ以外は横ばいという結果となった。

3, 採算

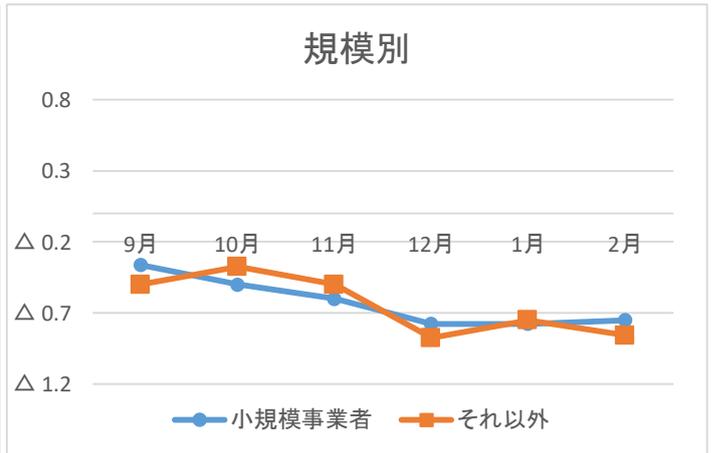
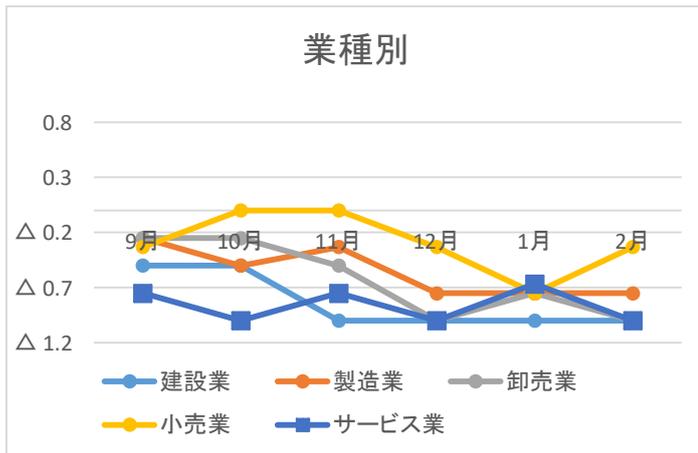


採算DIの推移

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
全産業	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.4
建設	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.5
製造	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.8
卸売	△ 0.3	0.0	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3
小売	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.7
サービス	△ 0.8	△ 0.7	0.0	0.0	0.3	△ 0.3
小規模	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.3
それ以外	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.9

全産業の採算DIは前月から横ばいという結果となった。
業種別に見てみると、卸売業は+0.2ポイント、小売業は+0.1ポイント上昇した。
一方で製造業は-0.3ポイント、サービス業は-0.6ポイント下降した。建設業は横ばいとなった。
規模別に見ると、小規模は+0.1ポイント上昇、それ以外は-0.5ポイント下降した。

4, 仕入単価

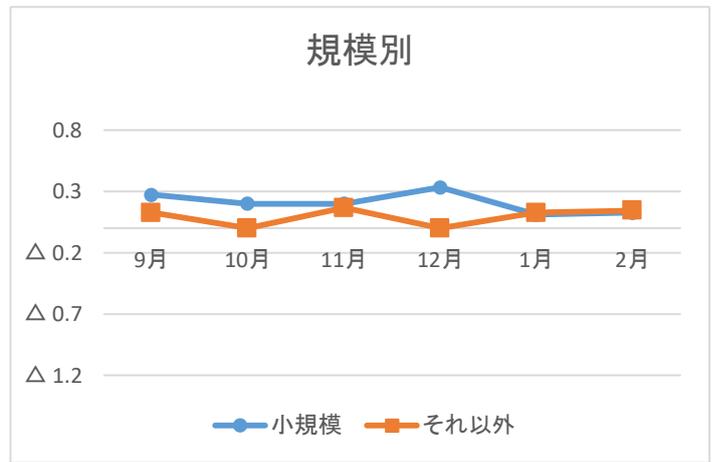
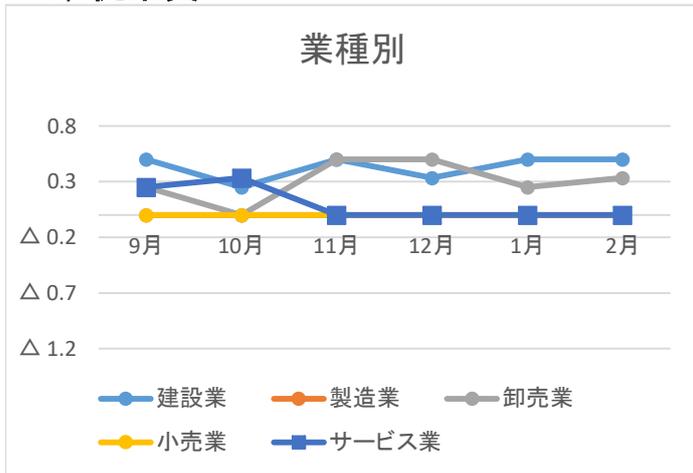


仕入単価DIの推移

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
全産業	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.6	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8
建設	△ 0.5	△ 0.5	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0
製造	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8
卸売	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 1.0	△ 0.8	△ 1.0
小売	△ 0.3	0.0	0.0	△ 0.3	△ 0.8	△ 0.3
サービス	△ 0.8	△ 1.0	△ 0.8	△ 1.0	△ 0.7	△ 1.0
小規模	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.6	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8
それ以外	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.9	△ 0.8	△ 0.9

仕入単価の全産業DIは前月から横ばいとなった。
業種別にみると小売業は+0.5ポイント上昇した。
一方ではサービス業は-0.3ポイント、卸売業は-0.2ポイント下降した。建設業・製造業は横ばいとなった。
規模別に見ると、小規模は横ばいとなった。それ以外は-0.1ポイント下降という結果となった。

5, 従業員

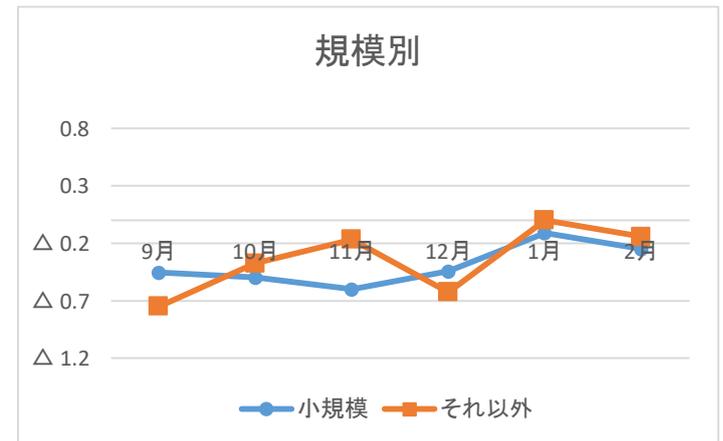
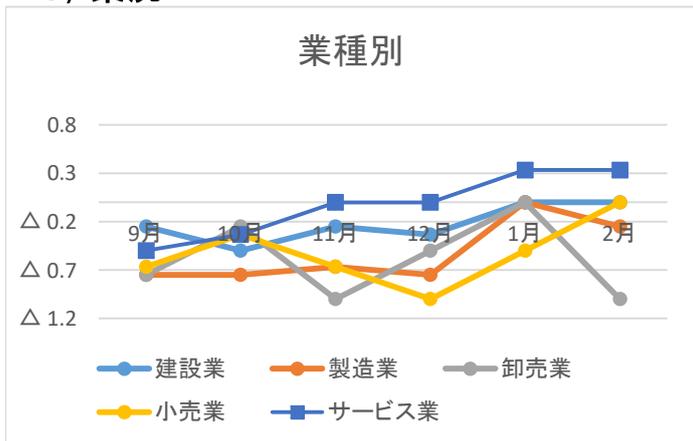


従業員DIの推移

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
全産業	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2
建設	0.5	0.3	0.5	0.3	0.5	0.5
製造	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売	0.3	0.0	0.5	0.5	0.3	0.3
小売	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
小規模	0.3	0.2	0.2	0.3	0.1	0.1
それ以外	0.1	0.0	0.2	0.0	0.1	0.1

従業員の全産業DIは前月から+0.1ポイント上昇した。
業種別にみると、建設業・製造業・卸売業・小売業・サービス業は横ばいとなった。
規模別にみると、小規模・それ以外は横ばいという結果となった。

6, 業況

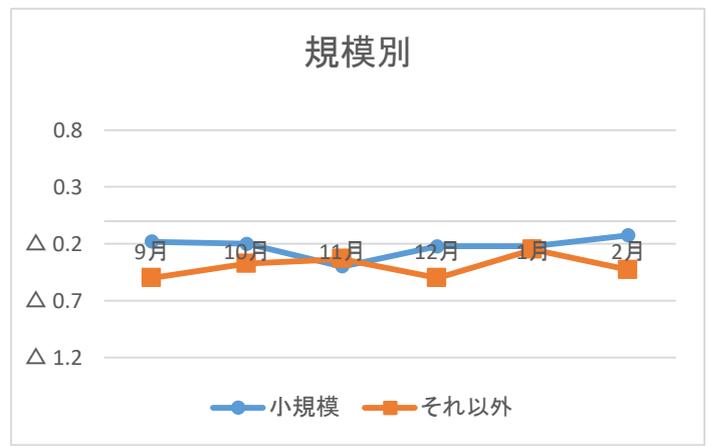
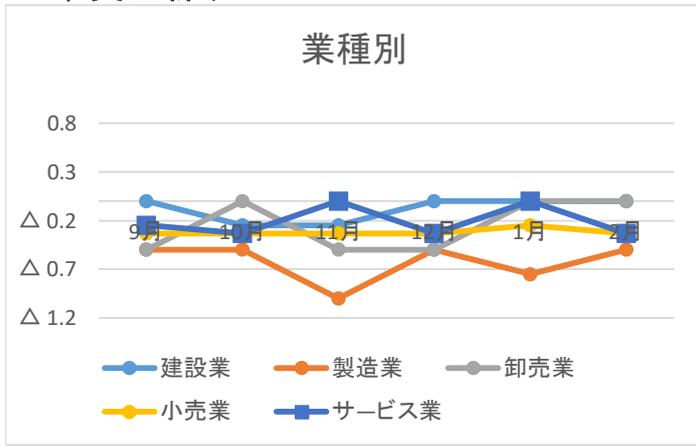


業況DIの推移

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
全産業	△ 0.6	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.1	△ 0.2
建設	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3	0.0	0.0
製造	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.7	△ 0.8	0.0	△ 0.3
卸売	△ 0.8	△ 0.3	△ 1.0	△ 0.5	0.0	△ 1.0
小売	△ 0.7	△ 0.3	△ 0.7	△ 1.0	△ 0.5	0.0
サービス	△ 0.5	△ 0.3	0.0	0.0	0.3	0.3
小規模	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.6	△ 0.4	△ 0.1	△ 0.3
それ以外	△ 0.8	△ 0.4	△ 0.2	△ 0.6	0.0	△ 0.1

業況の全産業DIは前月から-0.1ポイント下降している。
業種別に見ると、小売業が+0.5ポイント上昇した。
一方で製造業は-0.3ポイント、卸売業は-1.0ポイント下降した。建設業・サービス業は横ばいとなった。
規模別で見ると、小規模は-0.2ポイント、それ以外は-0.1ポイント下降という結果となった。

7, 資金繰り



資金繰りDIの推移

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
全産業	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.2	△ 0.1
建設	0.0	△ 0.3	△ 0.3	0.0	0.0	0.0
製造	△ 0.5	△ 0.5	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.5
卸売	△ 0.5	0.0	△ 0.5	△ 0.5	0.0	0.0
小売	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3
サービス	△ 0.3	△ 0.3	0.0	△ 0.3	0.0	△ 0.3
小規模	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.4	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.1
それ以外	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.4

資金繰りの全産業合計DIは前月から+0.1ポイント上昇した。

業種別に見ると製造業は+0.3ポイント上昇した。

一方でサービス業は-0.3ポイント下降した。建設業・小売業・卸売業は横ばいとなった。

規模別に見ると、小規模は+0.1ポイント上昇、それ以外は-0.1下降した。

※「建」:建設業、「製」:製造業、「卸」:卸売業、「小」:小売業、「サ」:サービス業

1.付帯調査【新型コロナウイルスによる影響について】

1-1 新型コロナウイルスによる経営のマイナスの影響について

	建	製	卸	小	サ	合計
①深刻なマイナスの影響が続いている(感染拡大前と比べ、売上が50%超減少)		1	1			2
②大きなマイナスの影響が続いている(感染拡大前と比べ、売上が30%程度減少)			1	1	2	4
③ある程度のマイナスの影響が続いている(感染拡大前と比べ、売上が10%程度減少)		2	1	1	1	5
④現時点で影響はないが、今後マイナスの影響が出る懸念がある	2			1		3
⑤影響はない		1				1
⑥分からない						0
⑦回答不能						0

2.付帯調査【BCPについて】

2-1 業継続計画(BCP)の策定状況について

	建	製	卸	小	サ	合計
①事業継続計画を策定済みである	1					1
②事業継続計画を策定中・見直し中である		1		2		3
③事業継続計画は必要と思うが、策定していない	1	2	2	1	3	9
④事業継続計画はそもそも必要ない			1			1
⑤回答不能		2				2

2-2. 策定済みまたは策定中の事業継続計画(BCP)の内容について ※※質問2-1で選択肢1~2と回答した方へ

	建	製	卸	小	サ	合計
①感染症以外(自然災害等)を想定した事業継続計画(BCP)	1			1		2
②感染症を想定した事業継続計画(BCP)	1	1		2		4
③回答不能	1	3	3	1	3	11

3.付帯調査【販売先について】

3-1. 貴社の販売先について

	建	製	卸	小	サ	合計
①事業者(BtoB)	2	2	3	1		8
②消費者(BtoC)	2	2	2	1	3	10
③回答不能		1		1		2

3-2. 販売先との取引条件について ※前年度(2020年度)と比較して改善した事項がある場合 ※質問3-1で選択肢1に回答した方に ※複数回答可

	建	製	卸	小	サ	合計
①販売先からの支払いが手形から現金に変わった、サイトが短縮された等(手形払いの要請等)		1				1
②発注が口頭のみではなくなった、発注書に金額が記載されるようになった等(口頭のみ発注)		1	1			2
③販売先による支払い遅延、代金の減額がなくなった等(支払い代金の遅延・減額)			1			1
④販売先から協賛金の要求、手伝い人員の派遣要請がなくなった等(金銭や人員等の提供)			1			1
⑤販売先の都合による納品物の受取拒否がなくなった等(納品物の受取拒否)						0
⑥無償で金型等の保管要請をされることがなくなった等(金型等の保管・管理要請)						0
⑦知的財産や技術・ノウハウの取扱いなどに係る不利な条件での契約が見直された等(片務的な契約条件)						0
⑧改善した事項は無い・変わらない	2	1	1	1		5
⑨取引条件はむしろ悪化している						0
⑩その他→具体的内容はコメント欄に記入をお願いいたします。						0
⑪回答不能		2		2	3	7

付帯調査まとめ

新型コロナウイルスによる経営のマイナスの影響についての付帯調査では、「影響がある」と答えた事業所は73%だった。現在は影響がない事業所も、オミクロン株の影響がでる可能性を懸念している。
業継続計画(BCP)の策定状況についての付帯調査では、「事業継続計画は必要と思うが、策定していない」と回答した事業所が最も多かった。
また、策定済みまたは策定中の事業継続計画(BCP)の内容についての設問では、「感染症を想定した事業継続計画(BCP)」が4件、「感染症以外(自然災害等)を想定した事業継続計画(BCP)」が2件だった。
販売先についての付帯調査では、「消費者(BtoC)」が10件、「事業者(BtoB)」が8件だった。
販売先との取引条件についての付帯調査では、「取引条件はむしろ悪化している」と回答した事業所が最も多く、5件だった。